



BEE LEAGUE 2024

ディスクドッジ第 1 戦

大会報告書

DBJA Dodge Bee of Japan Association 日本ドッジビー協会

1. 大会概要

名 称 : BEE LEAGUE 2024 ディスクドッチ 第1戦

日 時 : 2024年6月9日(日曜日) 14:00~18:00

場 所 : ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム

〒182-0032 東京都調布市西町376-3 Tel 042-484-1977

主 催 : 一般社団法人日本ドッチビー協会 (DBJA)

協 賛 : 文化シャッター株式会社 株式会社クラブジュニア



2. 参加チーム一覧および試合結果

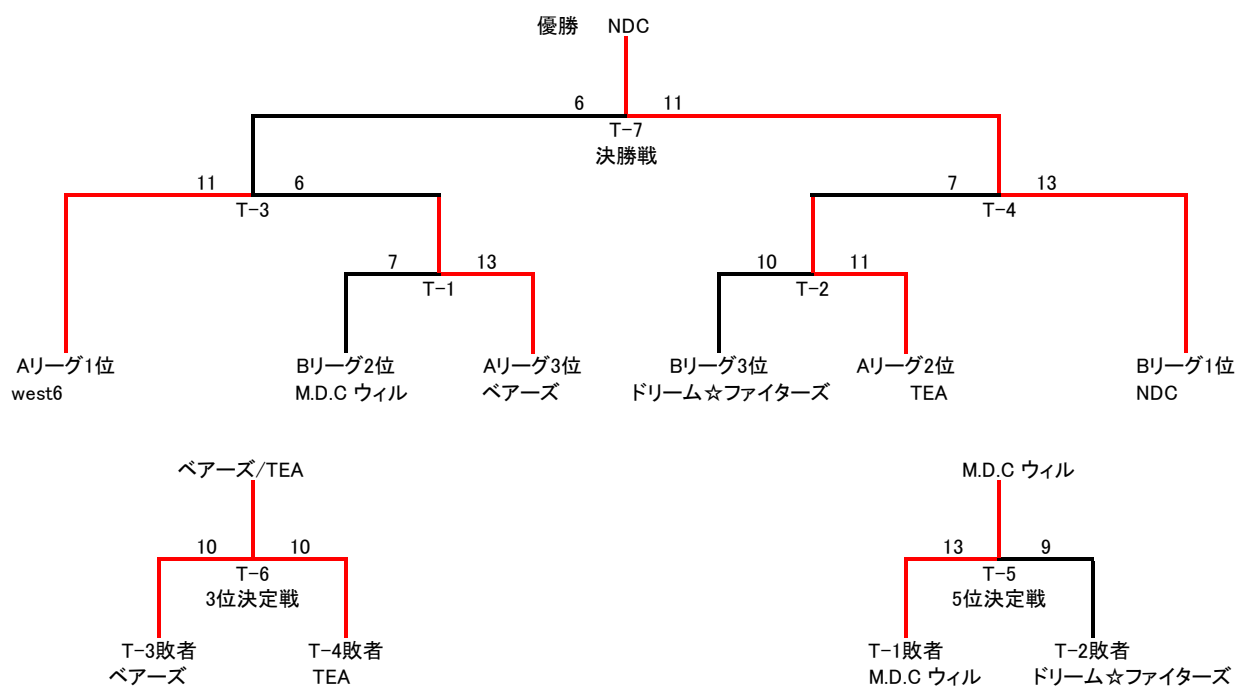
順位	チーム
優勝	NDC
準優勝	west6
3位	深大寺ドッチビーサークル ベアーズ
3位	TEA
5位	M.D.C ウィル
6位	ドリーム☆ファイターズ

合計チーム数 6チーム、78名が出場

予選リーグ

リーグA	TEA	west6	ベアーズ	勝点	得点	失点	得失点	順位
TEA		A-1 9-13	A-2 13-10	3	21	23	-2	2
west6	A-1 13-9		A-3 12-10	6	25	19	6	1
深大寺ドッチビー サークルベアーズ	A-2 10-13	A-3 10-12		0	20	25	-5	3
リーグB	NDC	ドリーム☆ファイターズ	M.D.C ウィル	勝点	得点	失点	得失点	順位
NDC		B-1 13-9	B-2 14-7	6	27	16	11	1
ドリーム☆ファイターズ	B-1 9-13		B-3 10-11	0	19	24	-5	3
M.D.C ウィル	B-2 7-14	B-3 11-10		3	18	24	-6	2

順位決定トーナメント



3. 表彰

優勝チームには表彰状と、副賞として株式会社クラブジュニア様よりご協賛いただいたドッチビーを贈呈しました。



4. 動画配信

以下の順位決定戦の動画を YouTube に配信しております。

5 位決定戦 ドリーム☆ファイターズ - M.D.C ウィル

<https://youtu.be/QshZBg0R63I>

3 位決定戦 深大寺ドッチビーサークルペアーズ - TEA

https://youtu.be/pVGOKqmTC_Q

決勝戦 NDC - WEST6

<https://youtu.be/82LF5wvttUo>

5. 講評

ディスクドッチシリーズ第 1 戦となりました今大会は、8 チームに申込み頂き、抽選の結果 6 チームに参加いただき開催しました。抽選をすることは心苦しくありますが、シリーズ戦でありますので残念ながら落選してしまったチームは、是非次戦優先権を活用しお申込みいただければと思います。

6 月 9 日当日は、屋内コートのため比較的涼しく感じられました。コートは 1 面で周囲スペースに余裕があったため、コート周囲に観戦エリアを設けることが出来ました。通常の大会に比べて、間近で応援することが出来たことは良かったと思います。

試合は 6 チームを 2 リーグに分けて予選リーグを行い、順位決定トーナメントで最終順位を決定しました。社会人主体のチームと小学生主体のチームでは体格差による力の差は出ましたが、日ごろから練習しているパスワークを生かした速い攻撃で、接戦に持ち込む好ゲームがいくつかみられました。

決勝戦は、予選リーグ 1 位通過したチームが順当に勝ち上がり、west6 と NDC の対戦となりました。経験豊富な NDC と、スローに定評のある west6 の対戦は前半 6-4 で NDC がリード。そのまま勢いに乗った NDC は後半 5-2 と引き離し 11-6 にて勝利。BEE LEAGUE ディスクドッチ第一戦を優勝しました。

試合運営は、全 13 試合を約 2 時間で回す計画であったため、遅延なく完了できるか心配でしたが、各チームに試合前招集にご協力いただいたおかげで、むしろ前倒しで運営することが出来ました。また、今回は DBJA 認定の「ディスクドッチティーチャー & レフリー (DTR)」資格保持者の方 4 名を中心に審判員を務めて頂きました。通常地元で審判を務めていることもあり、ジャッジや試合の仕切りに慣れており、とても心強い印象を持ちました。審判は定期的に実施しないと感覚が鈍ってしまうところもありますので、今後も DTR 資格保持者の方へのご協力をお願いし、各個人の審判スキル維持向上の場



としても活用いただく WinWin の関係を作っていきたいと思います。

最後に、BEE LEAGUE はディスクドッチとして久しぶりにオープン部門として小学生や大人で分けない大会としました。小学生が大人顔負けのプレーを魅せる一方で、大人の試合にかける思いや表現が小学生を少し怖がらせるようなシーンも見受けられました。オープン部門で試合を開催する際の課題として改めて認識しました。

また出場頂いたチームの引率者から「私たちのチームでは、審判が見落としていても、自分が当たったと思ったら自ら手を挙げて外野にでよう指導している。」とお聞きました。子どもの健全な心身の



育成においてとても重要で素晴らしい指導をされていると感じました。ドッチビーだからこそ老若男女一緒にプレーすること。ドッチビーのスピードゆえに見えないプレーもあること。こういった特徴を生かし、また受け入れ、スポーツを楽しむためにも、「ドッチビーマインド」と言ったらよいかそういった風土醸成が重要であり、協会として取り組んでいきたいと思っています。